

「中国・アジア」ダイジェスト

2014.06.30-07.11

*記事は東京発行・最終版

CHINA

7月1日(火) □

■湖南科力、H V用電池工場
年産3万台分/中国メーカー向け
車載用ニッケル水素電池メーカーの中国・湖南科力遠新能源は、浙江省紹興市に工場を新設、H V用電池パックシステムを生産する。年産能力は3万台分。主に国内メーカーに納入。(時事=7面)

■共伸、車部品工場9月稼働
無段変速機パネノ一貫生産
共伸は、江蘇省丹陽市の自動車部品工場を9月に稼働する。無段変速機(C V T)や駆動系向け板パネを手がける。プレス加工から熱処理、組み立てまでの一貫生産体制。(7面)

7月2日(水) □

■三菱日立P S、環境装置新会社
中国最大手と合併/P M2.5除去
三菱日立パワーシステムズは、電機集塵機の中国最大手・浙江菲達環保科技と合併で環境装置専門の新会社を設立する。P M2.5などの煤塵除去を行う総合排煙処理システムを展開。(3面)

■伊藤忠、鉄鉱石の販社
200万ト/大手総合商社と設立
伊藤忠商事は、中国の大手総合商社・天津物産集団と合併で、天津市に鉄鉱石販売会社を設立した。日系企業が中国で鉄鉱石販売会社を設けるのは初めて。取扱量200万ト。(3面)

■不二越、産口ボ中国生産拡大
パレタイジング・小型ロボ/年900台
不二越は、中国で産業用ロボットの生産品目を拡大する。パレタイジングロボットと小型ロボットの生産を開始。年に900台以上を生産する。自動車溶接ロボットと合わせ1800台程度。(6面)

7月3日(木) □

■三菱日立P S、再編前倒し
中国・欧米に統括拠点
三菱日立パワーシステムズは、主要子会社の再編を前倒しする。パプコック日立の吸収を6カ月前倒して10月1日付とする。さらに中国と米国、欧州に地域統括拠点をそれぞれ設立する。(1面)

■北京、E V充電スタンド1万基
公用車・タクシー/次世代エコカーに
北京市は、電気自動車やP H Vなどの

三菱ふそうトラック・バスがインドで生産を始めた左ハンドル仕様車(9日付)



次世代エコカー普及で、2017年までに1万基の充電スタンドを市内に設置する。公用車やタクシー車両の調達は次世代エコカーに切り替える。(時事=5面)

■A Dデバイス、上海に現法
東芝製半導体/車載機器向け
エー・ディーデバイスは、上海に現地法人を設立した。現地で車載機器向けに東芝製の半導体を拡販する。海外生産シフトが進む中、現地に拠点をアジアにおける車載ビジネスの拡大に。(9面)

■日立システムズ、上海に支店
I Tサービス/沿海部展開
日立システムズ、中国のI Tサービス事業を強化するため、中国現地法人の支店を上海市に設立。広州市など華南地区だけでなく上海など沿海部でも事業を展開する。(9面)

■キュービー、北京工場を増強
インドネシア工場10月稼働
キュービーが、海外展開を加速している。北京工場のマクネス生産能力を年1万トから同1万3000トに増強。10月にはアジアで6番目の生産拠点となるインドネシア工場を稼働する。(15面)



キュービーの北京工場

7月4日(金) □

■サウジに乗用車工場
中国・B Y Dが検討
中国の電池・自動車メーカー・B Y Dは、サウジアラビアでの乗用車工場建設を検討。ポータルサイト・搜狐網によると、同社の中東地域事業部門の責任者がこのほど明らかにした。(5面)

■三遠機材、広州市に販社
無段変速機部品/日系に供給
三遠機材は、広州市に全額出資で販売会社「三遠広州商貿」を開設した。日系変速機メーカーの現地工場向けに無段変速機(C V T)部品の供給、サービス体制を強化する。(5面)

■パナ、中国・東南ア開拓
コールドチェーン/2倍の3000億円
パナソニックは、成長が見込める中国や東南アジア市場の開拓を進め、2018年度にコールドチェーン事業の売上高を2倍の3000億円を目指す。コンビニ向けのショーケースなど。(9面)

7月8日(火) □

■6月新車、5社が前年上回る
日系6社/上期、全社2ケタ増
日系自動車メーカー6社の6月の中国での新車販売は、トヨタ自動車を除く5社が前年同月上回った。1-6月累計では全社が2ケタの伸びを示すなど、各社とも堅調な販売が続く。(6面)

■新型一眼デジカメ増産
パナソニック/2倍、月産5000台
パナソニックは、4月に発売した新型

ミラーレス一眼デジタルカメラの増産に乗り出した。国内外で品切れが続く。同製品を手がける中国工場では計画比約2倍に増産。月産5000台以上。(10面)

■植物工場・中国で販売
三菱樹脂/富裕層に無農薬の高級野菜
三菱樹脂は、中国で太陽光利用型植物工場を販売するため、江蘇省を中心に事業展開する農業協同組合チャイナコープと合弁会社を設立した。富裕層向け無農薬の高級野菜需要を見込む。(13面)

7月9日(水) □

■神鋼、中国で4割増強
アルミサスペンション鍛造部品
神戸製鋼所は、中国で自動車サスペンション用のアルミニウム鍛造部品の生産能力を4割増強。新たに加圧能力6300トの鍛造プレス機1台を導入し、2015年秋に稼働。20億円投資。(3面)

■V W、青島・天津に新工場
第一汽車と共同
独フォルクスワーゲンは、中国の第一汽車集団と青島と天津に20億を投じて新工場を建設する。V Wハイツマン取締役は「革新的かつ持続的な車の構想を中国市場にもたらす」。(時事=5面)

■フォード、上期・最多54万台
中国・新車販売35%増
米フォード・モーターは、2014年上期の中国での新車販売が前年比35%増で、上期で最多の54万9256台となった。合弁会社別では長安フォードが39%増。商用車の江鈴汽車は21%増。(時事=5面)

■シチズン、中国での現調拡大
時計製造/中級品を増強
シチズンH Dは、中国での時計製造で現地調達を引き上げる。完成品のほか、バンドやケース周辺など金属加工部品も対象。日米欧での好調で、中国で組み立てる中級品の供給力を高める。(6面)

■改善組織、中国に集約
U M Cエレ/製造コスト削減
ユー・エム・シー・エレクトロニクスは、製造コスト削減のための改善活動推進組織「L C Aセンター」を、中国に集約した。日本やベトナムなどの各工場に置いていた。(9面)

■Y K K A P、深圳に施工研修所
サッシ/専門工業者に技能
Y K K A Pは、深圳に建材の施工研修所を開設した。大連に続く2拠点目。サッシなどの施工を担うファブリケーターと呼ばれる専門工業者に技能トレーニング。蘇州に3拠点目。(12面)

7月8日(火) □

■カーエレで販売会社
J V Cケンウッド/ジャカルタ
J V Cケンウッドは、インドネシア・ジャカルタ市に販売会社を設立し、業務を始めた。主にカーエレクトロニクス製品を扱う。アジア・新興国地域での販売体制を強化。(11面)

■シンガポールで高層マンション
パナホーム/富裕層向け
パナホームは、シンガポールで高層マンション事業に2018年度までに進出する。省エネ性やセキュリティ性が高いマンションと同様な物件を想定し、富裕層の現地需要を開拓する。(14面)

7月9日(水) □

■アジア戦略車、ラテン投入
三菱ふそう/左ハンドル車開発
三菱ふそうトラック・バスは、アジア・アフリカ向け戦略車「F U S Oトラック」をラテンアメリカに投入する。ケニアなど7カ国に輸出する右ハンドル車に加え、左ハンドル車を開発。(5面)

■三菱商事、ミャンマーでタイヤ
高品質タイヤ/現地財閥と合弁
三菱商事は、ミャンマーでタイヤ販売関連事業に参入する。現地財閥・S P Aグループと、プリズトン製タイヤの販売支援などを手がける合弁会社を設立した。高品質タイヤの需要拡大。(12面)

■台湾・化粧品大手と提携
お茶の水女子大発V B
お茶の水女子大学発V BのS A N S H Oは、同社の機能性成分で台湾の大手化粧品会社と開発・販売提携。細胞のヒアルロン酸生成を高める科学的データが豊富。米国化粧品工業会に登録。(21面)

7月10日(木) □

■印チェンナイ港を技術支援
博多港ふ頭/物流I Tで国際貢献
博多港ふ頭は、独自に開発した博多港物流I Tシステム(H i T S)を用いた国際貢献事業を始める。第1弾としてインド・チェンナイ港に対してH i T S導入の技術支援を行う。(10面)

■インドで機械設計図面3次元化
フラスコ/子会社設立
フラスコは、2次元の機械設計図面を3次元化する子会社をインドに設立、業務を始めた。フラスコは半導体製造装置や医療機器といった産業機械向け部品の精密加工を主力に手がける。(6面)

■U P S、中・欧を鉄道輸送
コンテナ/2ルート
米U P Sは、中国-欧州間で鉄道によるコンテナ輸送サービスを始めた。ルートは中国・成都-ポーランド・ウッチ間と、中国・鄭州-ドイツ・ハンブルクへの二つ。(13面)

7月10日(木) □

■世界最大の産口ボ市場に
昨年3万7000台/中国生産26%
2013年の中国国内の産業用ロボット販売は3万7000台となり、日本を抜いて世界で最も大きな市場となった。そのうち中国国内で生産されたものは26%。中国ロボット産業連盟公表。(6面)

■建機、中国で純正部品拡販
I C Tを活用
建設機械メーカーは、情報通信技術(I C T)を活用し、中国で自社製品用の純正部品の拡販に乗り出す。中古車価格を維持し、顧客のライフサイクルコストを削減する。(7面)

■神鋼、中国1割増
2000億円/車向けなど強化
神戸製鋼所は、中国事業の売上高を1割増の2000億円超に引き上げる。建設機械を伸ばすほか、自動車サスペンション用のアルミニウム鍛造部品の生産レベルをピーク水準に高める。(15面)

7月11日(金) □

■中国の輸出、6月7.2%増
輸入5.5%増
6月の中国の貿易統計は、輸出は前年同月比7.2%増の1868億ドルと、3カ月連続でプラスとなった。市場予想を下回ったものの、輸出が引き続き好調。輸入は同5.5%増の1552億ドル。(時事=2面)

■富士電機が自販機合弁
中国・タイ/市場拡大に対応
富士電機は、中国とタイに自動販売機事業を担う合弁会社を設立する。中国ではコールド飲料の需要増に伴い自販機市場が拡大する見通し。タイには自販機のおペレーター会社。(8面)

■神鋼、車用アルミ素材供給拡大
新工場を着工
神戸製鋼所が、中国で自動車向けアルミニウム素材の供給拡大に動いている。サスペンション用の鍛造部品に加え、外板パネル用の板材の本格採用をにらみ、現地で工場建設をスタート。(11面)

■耐熱樹脂混練材で新工場
D I C/年産6000ト
D I Cは、中国の江蘇省張家港市に耐

今回は -
「中国・アジア ダイジェスト」面の
今回は28日(月)に掲載します。

熱樹脂ポリフェニレンサルファイド(P P S)のコンパウンド(混練材)製造拠点を新設する。投資額は約13億円。年産能力は6000トで、2015年完成。(11面)

TELOP

■キャデラック、中国40%超伸び
G M幹部が見通し(時事=8日6面)
■中国合併、株式保有率50%に
スズキ/4輪車製造(8日6面)
■みずほ銀行、開発区と協定
日系企業の進出支援(8日17面)
■チョコラB B中国で展開
エーザイ(10日14面)
■油圧ショベル、中国販売低迷
6月/春節明け需要戻らず(11日6面)

●ひと.....
企業内学校で中国語
ヒラノテクニードは、企業内学校で中国語の講座を始めた。「中国市場が大きくなっていることに対応するの狙い」と、常務の定安一男さん。「ヒラノアカデミー」は中国語のほかに、製造だけにとらわれないで一般知識や原価計算などの講座もある。(2日=7面)

●ひと.....
中国で地元企業を開拓
「中国ではこれまで日系の電機やO Aメーカーなどとのビジネスが多かった。今後はローカル企業の開拓を進める」と、帝人グループ執行役員樹脂事業本部長の武居靖道さん。樹脂事業の構造改革のポイントは「拠点に応じて生産にメリハリをつける必要がある」。(9日=11面)

●ひと.....
自動運転に期待
「中国の自動車生産台数の増加が追い風になっている」と、国際計測器社長の松本繁さん。タイヤ生産ライン向け試験装置の受注が堅調だ。自動運転システムの開発が加速しており、「ブレーキ、ステアリングなどの関連装置の需要が伸びる」と期待。(11日=5面)

■京大、バンコクに拠点
研究・教育支援/国際貢献
京都大学は、タイ・バンコクに「京都大学A S E A N拠点」を開設した。同地域で研究・教育支援や国際貢献を積極推進し、京大の存在感を東南アジアでも高める狙い。(17面)

TELOP

■「ジープ」インド投入
フィアット(時事=1日7面)
■韓国の電子マネーに対応
スマホ/ソフトバンクなど(1日11面)
■エアアジア、日本に再参入
楽天・ノエビアなど出資(2日3面)
■インドネシアに洗剤「アタック」
花王/硬水に対応(2日14面)
■マレーシアでマンション着工
三井不動産(2日14面)
■シンガポール衣料品販売に出資
住友商事/ネット通販(2日15面)
■インド首相、S N S活用促進
異例の措置(時事=4日3面)
■成田-クアラルンプール11月就航
エアアジアX(8日14面)
■近鉄エクス、カンボジア事務所
経済成長で物流増(9日13面)
■3メガ、ミャンマーに視察団
中小企業進出後押し(9日15面)
■シンガポールで地域冷房工事
新菱冷熱工業(10日7面)
■ニチバン、バンコクに事務所
はんそうこう・止血製品(10日14面)
■リジェネバナー、印で拡販
中外炉工業(11日6面)
■ソフトバンク、台湾でL T E
イタリア・パチカンでも(11日8面)
■東急ハンズ、シンガポール直営店
大型ショッピングモール(11日13面)

●ひと.....
うれしい!想定外
「インドネシアは想定より早く仕事が増えてきた」と笑顔なのは、京浜金属工業社長の外山卓也さん。2013年に工場進出し、輸送機器用パネの生産を始めた。「営業のベースは落とす。生産技術を上げないと、そのうちお客さんに迷惑をかける」と慎重。(1日=7面)

ASIA

6月30日(月) □

■丸茂工業、鍛造部品東南ア開拓
再生ファンド傘下で再建
丸茂工業が、国内の企業再生ファンドのもとで再建。東南アジアなどで成長が見込める。ホンダなどに鍛造の中核部品を製造。クランクシャフトなどの一般鍛工から特殊加工、金型を内製。(1面)

■MECHATROLINK、インド支部
準拠したF A機器/オープン化
MECHATROLINK協会は、インドのベンガルール市にインド支部を設置する。準拠したF A機器などモーションコントロールネットワークのオープン化に向けた動きを加速する。(9面)

■インド貨物専用鉄道にレール
新日鉄住金/総延長1500km
新日鉄住金は、インドの首都デリーと商業都市ムンバイとを結ぶ貨物専用鉄道向けに熱処理レールを受注、出荷を始めた。総延長約1500キロ。12万6000ト。受注額は非公表。(18面)

7月1日(火) □

■三菱商事、クレーンをレンタル
インドネシア/合弁設立
三菱商事は、インドネシアで移動式クレーンのレンタルに参入する。現地企業と合弁会社。インフラ整備や大規模化するプラント建設などが活発化する中、クレーンの需要が高まっている。(1面)

■キャノン、代理店3割増
新興国/I Jプリンター
キャノンは、C A D図面やポスターなどを印刷する大判インクジェットプリン



ポスターなどを印刷する大判インクジェットプリンター(キャノン)

ターで、ワールドワイドの代理店を3年間で3割増やす。インドネシアやロシア、南米、中東に標準。(10面)

■ベトナム人幹部育成
日本流モノづくり研修/P R E X
太平洋人材交流センターは、関西の中小企業で働くベトナム人社員向けに管理者養成研修を始める。日本企業経営の根底にある考え方を理解してもらい海外拠点の幹部候補生として育成。(23面)

7月2日(水) □

■タイで新型ピックアップ
日産・三菱自/独自開発
日産自動車、タイの新工場を開所。新型ピックアップトラックを生産する。三菱自動車も秋に新型モデルを投入する。共同開発する計画だったが頓挫し、単独で開発した。(5面)



日産の新型「NP300ナバラ」



三菱自の現行トライオン

■マツダ、台湾に販売会社
フォード委託生産は継続
マツダは、台湾に販売会社を設立。米フォードの子会社を経由しマツダ車を販売していた。自前の販社で販売戦略の立案する。現地で委託生産は継続。2013年度6089台。(5面)

7月3日(木) □

■A S E A N知財庁と連携
特許庁/職員養成・I T整備
特許庁は、A S E A N加盟諸国の知的財産庁と知財分野での協力を強化する。各国の知財庁の職員養成や審査官の能力向上に協力。出願・審査情報の共有でI Tインフラ整備を後押し。(2面)